

令和5年夏号

市政報告01

大阪維新の会 枚方市議会議員団
枚方市議会議員

大浜ようすけ

ひらかたの未来のために



公式サイト



Twitter



Facebook



Instagram



【編集・発行】大濱 暢祐 令和5年7月発行 TEL:090-3054-5132
〒573-0062 枚方市伊加賀栄町8-1 Mail:yohama881118@gmail.com



統一行動day



街頭活動

大浜の活動報告

枚方の明日のため、力いっぱい活動中!!



支部報告会



議会活動 (一般質問/質疑)



大浜ようすけ プロフィール

●**経歴**：1988年11月18日生まれ(34歳)
京都府八幡市出身 関西大学政策創造学部卒業
NPO法人ドットジェイピーにて議員インターンシップを経験、東証プライム
(旧東証一部)上場の総合人材サービス企業入社(株式会社クイック)、
第6期維新政治塾卒 ●**家族**：妻(共働き)、長男、長女の4人家族

●当選報告

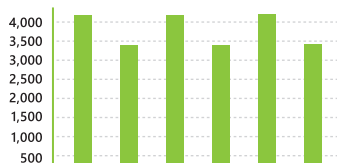
この度実施されました、4月23日の市議会議員選挙にて3,074票をいただき当選させていただきました。
皆様の期待に応えられるよう、ひらかたの未来のために活動してまいります。
定期的に報告を続けてまいります。
※公職選挙法の観点より御礼ではなくご報告のみさせていただきます。

●スタンス

かつて40万人を誇っていた枚方市の人口。令和の時代に入り再び30万人台に突入を致しました。枚方市の出生数は20年前と比較をすると約6割にまで落ち込んでいます。本市の調査によるとこのままの推移でいけば令和31年には人口は32万人を割り、65歳以上の方が全人口の42.8%にまで上昇する見込みです。
そうした人口減少が見込まれる社会の中で、未来に希望を持てるように子育て支援、教育、そして少子化対策に重点を置きひらかたの未来を切り拓くこと。そして何かをやったという実績ではなく、市民の皆さんがひらかたの未来を考えるきっかけとなるよう情報発信をしていきたいと考えます。



枚方市における年間出生件数



※参考：枚方市役所ホームページ 人口動態統計取次表
http://www.city.hirakata.osaka.jp/000018550.html

市政に関するお問い合わせ

大阪維新の会枚方市議会議員団
〒573-8666 枚方市大垣内町2-1-20
枚方市役所本館4階



072-841-1221(代)



yohama881118@gmail.com

令和5年度 議員としての役割が決まりました



所属会派は、大阪維新の会 枚方市議会議員団に

今回の選挙で大阪維新の会の公認で当選した10名で結成した会派です。一丸となって市政を前に進めていきます。



常任委員会は、教育子育て常任委員会に

子ども未来部及び教育委員会の所管に属する事項に関する議案の審査などを行います。またその他民生委員推薦会委員にも決まりました。

一般党員募集

日本維新の会は党の綱領にご賛同いただき、入党してくださる個人の方を募集します。

募集要項

- (1) 我が党の綱領、主義、政策に賛同される方。
- (2) 満18歳以上で、日本国籍を有する方。
- (3) 他の政党の党籍を持たない方。

●党費年額：2,000円

お問い合わせ：大浜ようすけ後援会
TEL:090-3054-5132

※入党資格の審査に際し、記載事項に不備があった場合は、受け付けられません。
※継続して頂いた党員の方には党員証をお送りさせていただきます。

人口増加施策

子育て世帯の転入超過に向けた効果的なプロモーションを

ここがポイント！

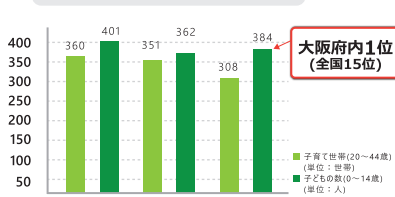
関西の中でも子ども及び子育て世帯に選ばれている枚方市。ひらかたの未来のためには次世代を支える人口の増加が重要。

過去3年間で子育て世帯1000世帯以上が枚方市に転入されました。(図1参照) それでも自然減は避けられず、高齢化率は高まります。(図2参照)

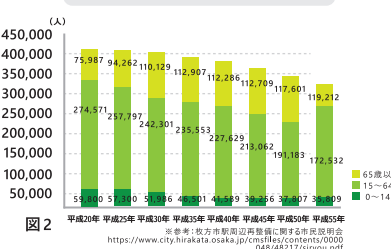
各自治体が未だに効果的な少子化対策を打つことができていない今、まずは子育て政策を充実させ、次世代を担う若い世帯に枚方市が選ばれることを続ける必要があります。こうした市外より転入をされる方たちの本市を選んでいただいた理由をもとにさらなるプロモーション強化を行うよう働きかけをしております。

そうした積み重ねにより枚方市におけるブランディングの確立を目指していくべきだと考えます。

子育て世帯・子どもの転入超過



年齢層別人口推計



給食

中学校給食の実施とまずは小学校給食無償化を

ここがポイント！

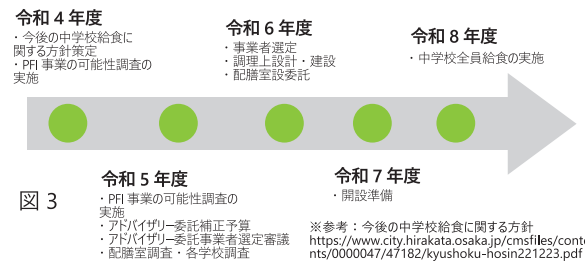
経済状況による差や共働き世帯が増加している中、負担を減らす学校給食のあり方を考える。

学校給食の今後について

小学校においては昨年度3学期分に臨時交付金の活用を行い小学校給食費の無償化が実施されました。予算確保の問題などはございますが、中学校給食無償化の前段として既に全員給食が実現している小学校給食の無償化の要望を行っております。(図3参照)

家庭の経済状況に関わらず全ての児童、生徒が給食を食べることができるよう要望を継続して行っております。

《中学校給食の方針策定時のスケジュール》



小学校においては昨年度3学期分に臨時交付金の活用を行い小学校給食費の無償化が実施されました。予算確保の問題などはございますが、中学校給食無償化の前段として既に全員給食が実現している小学校給食の無償化の要望を行っております。

保育

保育園における様々な観点の負担軽減を

ここがポイント！

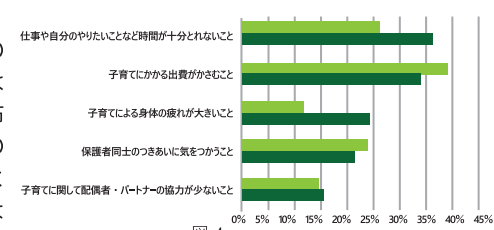
ポスト待機児童時代が到来した時に選んでもらえるサービスを

保護者視点では

保育園の大きな負担の1つになっているのが日々のお子様の荷物の多さではないでしょうか。将来的には<完全手ぶら登園>を目指してその第一歩として布団のリースサービス検討を要望しています。会派の要望により令和4年よりおむつのサブスクが開始。より保護者負担軽減を目指します。その中でも大切なことは保護者の皆さまが日々の育児で何に悩まれているかということです。枚方市の調査によると育児にまつわる時間とお金に関する悩みが上位にきています。(図4参照) 育児教育の無償化という目に見ることだけでなく時間を生み出すためのサポートの



子育てに関する悩みについて

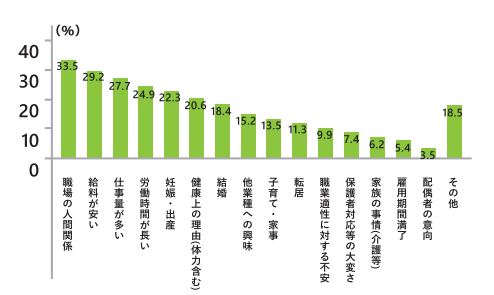


保育者視点では

私は保育園におけるICT利活用促進はより進めていくべきだという立場です。既に保育システムの導入により一定労力の削減が進んでいますが、改善の余地はまだあると考えます。(退職理由の上位に業務量に関する事由が並ぶ※図5参照)



過去に保育士として就業したものが退職した理由



例) データ活用によるスムーズな引継ぎを。→一般的な保育園では朝7時から夜7時頃までかわるがわる保育者が変わりながら多くお子さんを保育しています。その際に口頭引継ぎだけでなくデータを蓄積をすることでヒヤリハット共有などにもつながります。また将来的にはお子様一人ひとりにあった保育・教育に活かすことができる重要なデータベースとなります。

ICTは導入するだけでなく、業務の可視化を行い確実に業務改善を行うことと収集したデータをどのように活かすかが働いている皆さまの業務負担軽減や保育の質向上に繋げていくことが重要です。2025年

6月定例議会

- その他以下の一般質問を行いました。
- 》市の公式LINEの活用と周知について
- 》職員の育児休業取得状況について

枚方市 LINE 公式アカウントの登録を!



緊急情報や暮らしに役立つ情報を発信しています。ぜひ友だち登録してご利用ください。